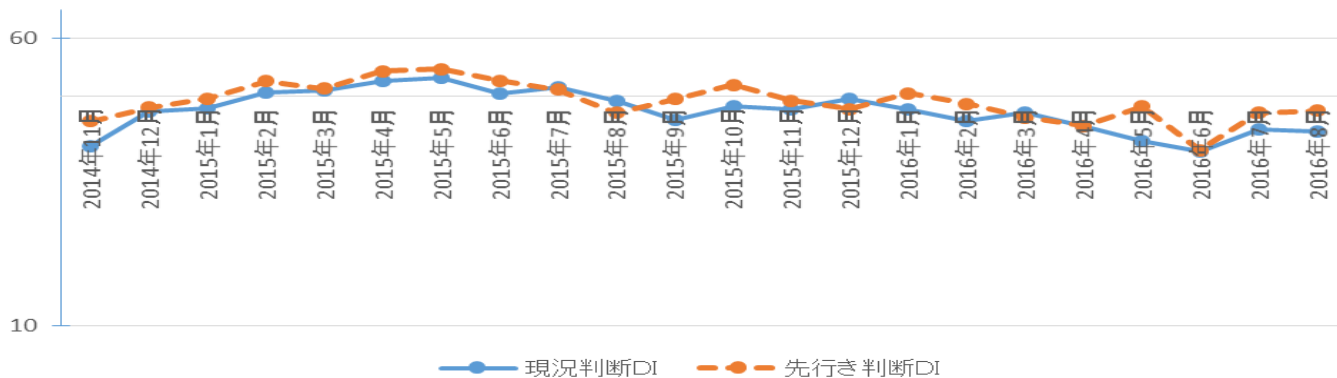


## 東海地域 現状・先行きDIの推移



### ◆東海地方 2016年8月 景気判断 コメント抜粋

	分野	判断	判断の理由
	現状	家計動向関連	やや良
不変			アパレルに関しては男性客、女性客共に、4月以降は購買意欲の減少が続いている。【衣料品専門店【紳士服洋品】（売場担当）】
やや悪			猛暑に加えてリオデジャネイロオリンピック等もあり、外出しようという意欲が感じられず、来客数が減少している。【百貨店（経営企画担当）】
企業動向関連		やや良	行政が上期予算を意欲的に執行する時期となっている。追加の経済政策が決まり、民間には補助金を活用した投資を提案する機会が多くなり反応も悪くないが、経営者層との商談からは、一時的な需要に留まる懸念が強い。【通信会社（法人営業担当）】
		不変	夏物商品の受注状況は、前年同期は上回るものの、それほど勢いがなく、9月以降にも不安が残る。【食料品製造業（経営企画担当）】
		やや悪	自動車部品メーカーからの引き合いが減っている。競争が厳しく、受注する確率も落ちている。【一般機械器具製造業（営業担当）】
雇用関連		やや良	製造業、小売業、医療・福祉業、サービス業で、正社員の求人が増加している。【職業安定所（職員）】
		不変	転職希望者数は今年に入ってからそれほど変化はなく、微増である。年末の退職を目指して、これから増える時期に突入する。【民間職業紹介機関（営業担当）】
		やや悪	求人案件はあるがマッチングできる人材が枯渇していて、紹介ができない。【人材派遣会社（社員）】
先行き	分野	判断	判断の理由
	家計動向関連	やや良	季節や気候の変化があるので、生活に必要な物も変わるため、購入が増える可能性が高い。【その他専門店【雑貨】（店員）】
		不変	この先2～3か月には大きなイベントがないため今と変わらない。客は付き合いの範囲を狭め、プレゼントや返礼品の需要は減っていく。家族や自分へのごほうびといった自己消費型の贈答が増えていく。【一般小売店【贈答品】（経営者）】
		やや悪	東日本や北海道では荒天による作物への影響が心配される。特にたまねぎが高騰しており、台風の影響次第では、一層の価格上昇を懸念する。【スーパー（店員）】
	企業動向関連	やや良	かなり不透明感はあるものの、工作機械関係、電気機器向けや自動車関連等で、足元の受注量が大幅に増えており大変好調である。減少傾向の製品もあるが全体的には増産となり、先行きは良い状態が見込まれる。【電気機械器具製造業（経営者）】
		不変	消費が落ち着いており荷動きは横ばいで、例年と変わりがない。燃料価格はやや値下がり傾向で、経営的には一服であったが、下げ止まりとの見方が出ており、今後の動向が心配である。【輸送業（従業員）】
		やや悪	行政には、次年度の予算確保に向けた提案を行い、民間には、お盆期間の製造業以外への新たな提案に向けたヒアリングや現場調査を行っている。ここから新年度までは、行政・民間向けとも比較・検討の時期に入るため、金が動くのは少し先になる。【通信会社（法人営業担当）】
	雇用関連	やや良	自動車大手メーカーが下期に向けた求人募集を行い、生産体制を強化する動きがある。【アウトソーシング企業（エリア担当）】
		不変	企業からは人手不足の声も聞かれるが、英国のEU離脱問題や欧州でのテロ等、世界情勢の影響で為替や株価の動きも先行き不透明となり、大手企業等の投資が鈍化することが懸念される。【職業安定所（職員）】
やや悪		求人活動を続ける企業では、思うように中途採用が確保できず、生産性が落ち込む可能性がある。【人材派遣会社（社員）】	